

まなびのWai いわき

広 報

生涯学習プラザの展望 — 生涯学習の新展開 —

生涯学習プラザは、平成14年のオープン以来、市民への生涯学習支援と市街地活性化の期待を受け、生涯学習に関する様々な事業を実施してまいりました。8年目を迎えた今、いわき駅前の総合図書館やいわき芸術文化交流館のオープンにより、市街地の芸術・文化ゾーンが充実し、市民の生涯学習にも多様性が見られるようになりました。

こうした市民の学習意欲に答え、とくに、ボランティア参加型学習形態の新たな取り組みを紹介いたします。

平成21年度の基本方針

平成21年度生涯学習プラザの事業運営に関する基本的な方針を紹介いたします。

- ①生涯学習に関する情報の収集・提供と調査研究や相談に応じます。
- ②人材の発掘・育成をはかり、ボランティア活動とおとした生涯学習のまちづくりを目指します。
- ③学習ニーズに対応した多種多様な学習プログラムを開発・提供します。
- ④広域のかつ高度で専門的な学習を提供します。
- ⑤施設の機能や環境をいかした事業に取り組みます。

体験プログラムの企画と実施

昨年10月に開催した第20回全



全国生涯学習フェスティバルでの学校体験（陶芸体験）

国生涯学習フェスティバルの経験と実績をもとに、当プラザで活動する団体・サークルの協力を得て各種体験プログラムを

実施します。

体験プログラムは、団体・サークルのふだんの活動を紹介するとともに、教え学びあう環境の



学校体験（音訳ボランティア体験）

醸成と活動の輪を広げます。

◎学校体験企画

団体・サークルの活動内容および日時にあわせ、市内の小学校低学年の「生活科」や小学校中学年から中学校の「総合的な学習の時間」として参加・体験する企画。「絵手紙」「能楽」「水墨画」「フォークダンス」「茶道」などを準備しています。

◎一般体験企画

学校体験企画と同じく、団体・サークルの活動内容および日時にあわせ、高校生以上の一般市民を対象に体験・体感する企画。学校体験企画に加え「詩吟」「陶芸」などもあります。

ボランティア参加プログラム

生涯学習プラザでは、ボランティアの方々を中心となって企画する講座を開催します。

◎ITボランティアリーダー企画講座

ITボランティアリーダー養成講座の受講生が中心となって企画する講座を毎月1回開催しています。講師とアシスタントを交代で務め、かゆいところが手が届く指導が好評で、今年度も継続して実施します。

◎子育て支援ボランティア企画講座

遊びと憩いの広場やルーフガーデンを使って、乳幼児と家族を対象とした新企画の講座を毎月1回開催します。保育・育児経験豊かなボランティアとのさまざまな遊びをおして、子



子育て支援ボランティアによるパネルシアター

どもと一緒に成長する家族を応援します。

生涯学習プラザは、より多くのボランティアの方々を積極的に活動できる場を広げ、これからも市民の皆様の生涯学習を応援してまいります。

「第20回全国生涯学習フェスティバルinいわき」開催

オーパニバニ ニバニバニ

平成20年10月11～15日の5日間、「第20回全国生涯学習フェスティバルinいわき」が開催されました。

いわき芸術文化交流館で行われたオープニングセレモニーでは、いわきヒューマンカレッジの童門冬二学長による、「歴史にみる生涯学習―天璋院篤姫を例に―」と題した記念講演が行われ、会場を埋め尽くした聴衆は、童門学長の絶妙の語り口に引き込まれていました。

講演は、話題となっている篤姫の生き様を通して、生涯学習続けることの大切さを作家童門冬二の視点でユーモアたっぷりに語られました。



まさに、生涯学習フェスティバルの幕開けにふさわしい、すばらしい講演となりました。

フェスティバル 学校体験企画

フェスティバル会期中の10月14日、小・中・高校生を対象とした体験学習をプラザ利用団体の協力で実施しました。

2日間で約1000人の児童・生徒が、伝統芸能や美術・工芸などを体験しています。子どもたちの手を取って熱心に指導するサークルのメンバーなど、日ごろのサークル活動や学校の教室では見られない異世代交流の機会が数多く実現しました。

★伝統遊び体験

5階庭園でけん玉やコマ回しなどを体験しました。



★陶芸体験
ロクロを使った器づくりを体験しました。



★手話体験
手話を使った簡単なあいさつを学びました。



★エコたわしづくり体験
初めての編み物に挑戦しました。



★伝統芸能体験（能楽・しの笛）
日本の伝統芸能、「能楽」・「しの笛」を体験しました。



★茶道体験
プラザ5階庭園の本格的な茶室で茶道体験。茶道の歴史や作法を学びました。

平成20年度「いわきヒューマンカレッジ」各学部のようす



入学学生代表あいさつ

本年度の市民大学も盛会のうちに終了しました。

本年度のいわきヒューマンカレッジは、いわきらしさをもったヘルスサイエンス学部・地域づくり学部・人間環境学部・いわき学部の4学部を開設しました。

入学式は8月31日(日)にいわきワシントンホテル椿山荘で開催され、入学生に向けた榎田一男理事長(市長)、童門冬二学長(作家)のお祝いの言葉が、遠藤宏之副理事長(教育長)、神山敬章常任理事(いわき明星大教授)から伝えられました。また、入学生425名を代表して、ヘルスサイエンス学部の大越佳子さんから受講にあたっての喜びと抱負が述べられました。

入学式終了後の記念講演では、いわき明星大学非常勤講師馬目順一先生による、「いわき古墳時代の新視点」と題した講演が行われました。講演の中では、四倉町の玉山古墳など、最新の発掘調査事例を踏まえた新知見が披露され、会場に詰めかけた入学生・一般市民は感銘を受けていました。

各学部では、9月上旬から11月上旬の期間で7回の講座が開催されました。11月29日(土)に修了式が行われ、

ヘルスサイエンス学部

会場となったいわき明星大学では、昨年度の薬学部開設を機にヘルスサイエンス学部が開講されました。今日の長寿高齢化社会で重要な社会的テーマとなっている健康(ヘルス)にかかわる事柄を科学的に学習することを通じて、健康づくりについて学びました。初回の鹿児島先生の「身体の調節機構ーホルモンに学ぶー」に始まり、薬学を中心とした内容的にはかなり難しい内容の講義



第7回「医薬品情報学」
いわき明星大学 村田 亮 教授

に、真剣に耳を傾けている受講生の姿が見受けられました。また、丸山先生の「漢方医学ー自然からの贈り物ー」では、実際に漢方薬の試飲などを行い、理解を深めていました。

地域づくり学部

地方や地域に関わる様々なニュースに、市民の関心が高まっています。本学部では、いわき市の身近な事例や全国的動向に触れながら、地域社会の経済・福祉・環境などを学び、いわきのまちづくりについて考えました。「中心市街地は蘇るか?ーいわき市中心市街地の課題ー」や



第7回「ボランティア活動とまちづくり」
東日本国際大学 遠藤 寿海 准教授

「産業構造の変化がいわきにもたらしたものー“フラガール”誕生の背景ー」など、本市に密接に関わる問題や、「国際化と地域ーグローバル化するいわきの風景ー」、「ボランティア活動とまちづくり」など多方面からいわきのまちづくりについて学びました。

人間環境学部

今年度で3年目を迎えた「人間環境学部」では、理工系はもちろん文系の視点からも、「グローバル(地球規模)」かつ「ローカル(いわき)」に、生活環境に関する問題を考えました。私たちは、「太陽と水の恩恵」を受けて生育する動植物との関わりの中で生きています。自然の恵みに感謝しつつ、環境と調和する「まちづくり」を考えました。「バイオエタノール燃料の現状と課題」や「新エネルギー・太陽光発電」「くらしと飲み水」「自然と人間との共生ー環境倫理の課題ー」などの講義を通して、自然と人間とのあり方について学びました。



第4回「くらしと飲み水」
福島工業高等専門学校 高荒 智子 助教

いわき学部

本年度のいわき学部は、平安時代末期から中世にかけての、動乱の時代のいわきに焦点をあて、「極楽往生の願いと白水阿弥陀堂」、「岩城氏の台頭と好嶋荘^{よしまのしょう}」や「経塚が語る庶民の願い」、「薬王寺と板碑^{いたひ}」などを通して、いわきの歴史・文学、庶民の生活・文化・信仰について学びました。また、毎回受講生から好評を得ている史跡めぐりについては、「いわき北西部(三和町)の史跡めぐり」を実施しました。いわき市立沢渡^{さわたり}小学校敷地内の竹之内遺跡をはじめ、上三坂^{たけのうち}の中世城館三倉城^{さくらじょう}跡・上永井の作B遺跡など、現地での講義で歴史への理解をより深めました。

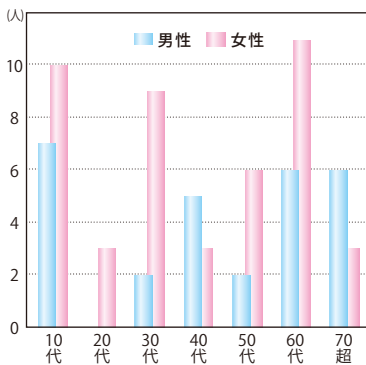


第7回「いわき北西部(三和町)の史跡めぐり」
いわき明星大学 馬目 順一 非常勤講師

生涯学習に関する調査研究

いわき市生涯学習プラザ利用に関する調査

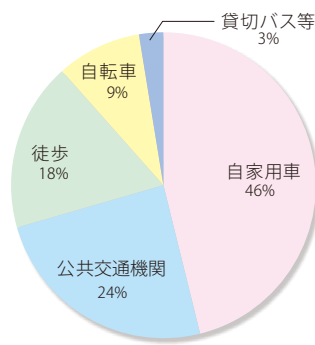
=生涯学習プラザの利用状況に関する分析=



第1図 男女別年齢構成

【利用状況について】
 回答は10代・30代・60代の女性
 が特に多く、後述する利用目的と
 の関連が考えられます。職業区分
 ごとの回答数の差は少なく、居住
 地は平地区中心に広範囲に及んで
 います。

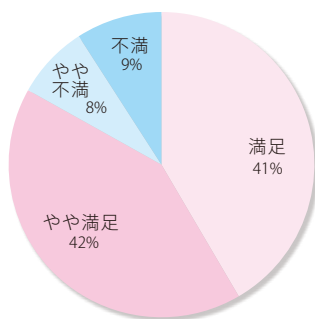
特徴がみられます。自由記述では、
 これら利用目的に関連する意見が
 多く寄せられています。
 その内容は、テレビ放映方法な
 ど施設管理への提案、学習目的で
 の環境音への不満、利用申請手続
 きの改善意見、講座の開催内容の
 要望など多岐にわたります。
 これらの意見は、運営改善策に
 積極的に取り入れると共に、月刊
 「プラザだより」のQ&Aで質問
 への回答に努めています。



第2図 利用交通手段

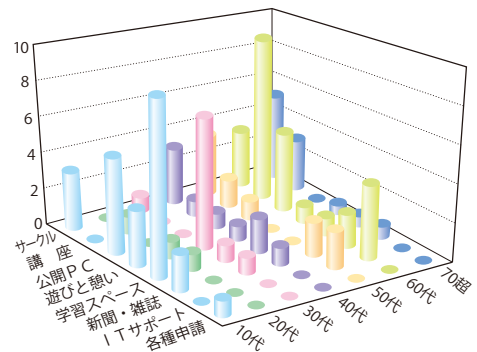
いわき市生涯学習プラザでは、
 施設利用者の傾向分析と満足度を
 測るため、利用者アンケートを実
 施しています。今回は、この調査
 の内容についてお知らせします。
 アンケート方法は、館内に用紙
 と回収箱を設置し、利用者が自由
 意志で回答したものを集計してい
 ます。今年2月までの1年間で81
 件の回答がありました。回答者
 属性の偏りは比較的少なく、幅広
 い年齢層の利用者からプラザの管
 理・運営に関する意見や要望が寄
 せられています。

プラザへの交通手段では、半数
 近くが自家用車と回答していま
 す。10代を除くとその割合はさら
 に高く、高齢者や乳幼児連れの利
 用が多いことから、駐車場への不
 満が多く寄せられています。
 プラザの利用目的については、
 10代の学習目的の利用、30代の遊
 びと憩いの広場の利用、60代の講
 座での利用など、年齢区分ごとの

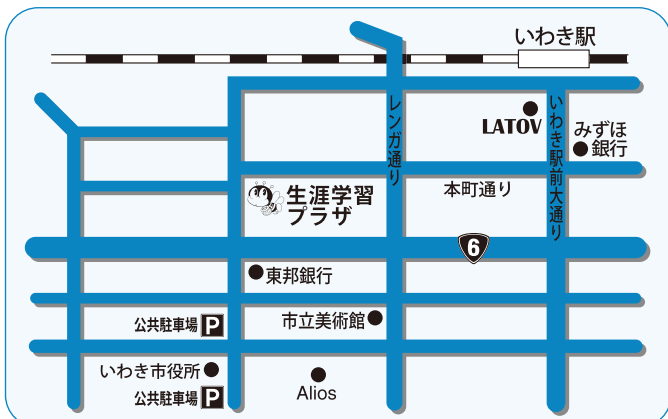


第4図 職員対応満足度

【利用満足度について】
 プラザ職員の対応を含めた利用
 満足度については、8割以上が好
 意的な意見を寄せています。さわ
 やかあいさつ運動など、サービス
 向上への取り組みが効果を上げて
 いるようです。
 一方で不満との回答もあり、プ
 ラザ利用者の満足度アップに向
 け、よりいつそうのサービス向上
 と運営改善が求められています。



第3図 年齢別利用目的区分



生涯学習プラザへのアクセス

- JR常磐線いわき駅より徒歩9分(600m)
- 常磐自動車道いわき中央ICより車で約14分(7km)
- ※いわき市役所周辺の公共駐車場(無料)をご利用ください。

〒970-8026
 福島県いわき市平字一丁目1番地 ティーワンビル内
 TEL 0246-37-8888 FAX 0246-22-5555
 電子メール info@isgp.jp
 ホームページ <http://gakusyuplaza.city.iwaki.fukushima.jp/>